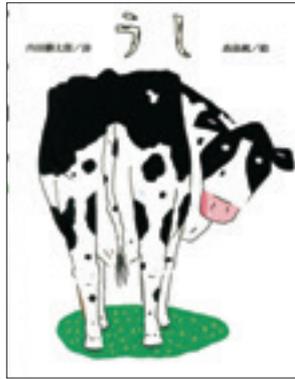


著作権保護コンテンツ

『うし』

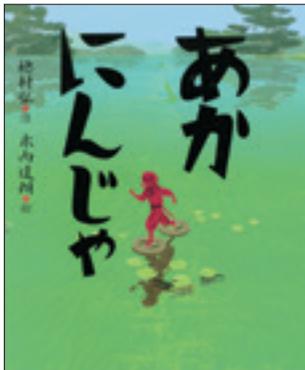
詩／内田麟太郎 絵／高島 純
1,300円 (アリス館)

1頭のウシが後ろを振り返ると、ウシがいました。そのウシも後ろを振り返るとウシがいました。その後ろも、そのまた後ろも、ずーっとウシです。ダジャレ級のオチに脱力です。



クスッと
笑える

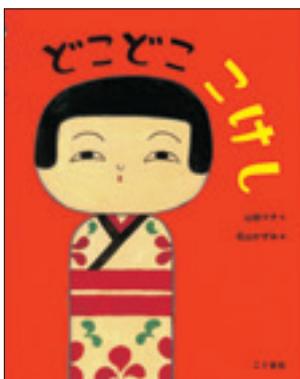
ストーリーの意外な展開や
予想外のオチに、クスッと
笑ってしまう絵本です。



『あかにんじゃ』

作／穂村 弘
絵／木内達朗
1,300円 (岩崎書店)

赤忍者が石垣を登っています。首尾よく城内に忍び込んだものの、見つかってしまいました。敵に囲まれ万事休す。そのとき、「ドロンドローン」と呪文を唱え赤いカラスに早変わり。



『どこどこ こけし』

作／山田マチ
絵／花山かずみ
1,300円 (こくま社)

こけしがない! どこに行っちゃったんでしょう。野球のバットのかわりになっていたり、運動会ではリレーのバトンがわりに使われていたり。ありそうでなさそうな光景が次々と展開します。



『しゃっくりがいこつ』

作／マージェリー・カイラー
絵／S・D・シンドラー
訳／黒宮純子
1,500円 (らんか社)

朝はシャワーを浴びて、歯磨きして、骨のお手入れまでしているガイコツ。今日はヒックヒックとしゃっくりが止まりません。友だちのオバケはあの手この手を試してみますが……。

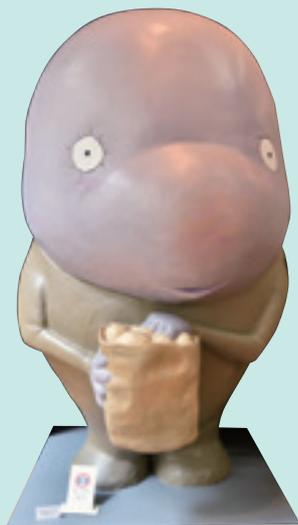
ROOTS …子どものころに出合ったもの

「日本のマンガからいろいろな刺激を受けました。小1、小2くらいですでにストーリーを考えてマンガを描き始め、マンガ家をめざしていました。担任の先生がエドガー・アラン・ポーの『黒猫』の話をして、何か引っかかるものがあったんですね。そこから怪奇小説や推理小説など、大人びた本を読み始め、椋図かずおさんや赤塚不二夫さんのマンガにもハマりました。10代のころに知ったものの影響は大きいと思います。その後手がけた『頭山』も『古事記』も当時読んでいます。ナンセンスさと怖さ、不条理みたいなものが、今も自分の中に大きなテーマとしてあるような気がします。偶然に興味を持ったものが、モチベーションのルーツになっているんですね」

山村浩二さん を知る

5つの キーワード

「子どものころから本の虫でした」という山村さん。学校帰りにはいつも書店や図書館に寄り、背表紙を眺めるだけで楽しかったそう。ちなみに、はじめて買った単行本は椋図かずおさんの“怖い”マンガ。



ギャラリー(P24)では、NHK教育テレビで放映されていたアニメーション『パクシ』の主人公のフィギュアが来客をお出迎え。子どもくらいの大きさと迫力満点。

PICTURE BOOKS for CHILDREN …わが子に読みきかせた絵本たち

「子ども時代も大人になってからも、絵本は特に好んで読んだことはなかったです。イラストの依頼があると資料として見たりはしましたが。絵本を自分から買うようになったのは、子どもが生まれてからです。そのころはさまざまな国の絵本の中から、絵柄で選んでいました。自分が絵を描く人間なので、絵のよしあしがポイントでした。絵から不純なものを感じると、子どもには見せたくない。絵が美しいものがないなあと。いちばん印象に残っているのはエリック・カールの絵本です。あとはアーノルド・ローベルの『ふたりはともだち』シリーズ(文化出版局)やモーリス・センダックなど。ムーミンの絵本も、子どもたちが何度も読んで破れたものがいまだに家にありますよ」

PARTNER …二人三脚

「うちの奥さんとは学生時代からのつきあいです。ぼくが造形大に現役で入って、名古屋の予備校にバイト講師で行ったときに、奥さんは浪人していて、そのときに会っているんです。その後奥さんが東京藝大に合格して、東京で再会。結婚して31年もたちました。2017年には孫も生まれました。

結婚してからこれまでずっと、地味な仕事をいっぱい手伝ってもらっています。作品について意見を聞いたりもします。最近はあまり言わないけれど、リアクションでわかる。『あ、これはできがよかったかな』とか『ちょっとダメかな』とか(笑)。根源的な部分でのアドバイザーですね」



アトリエにはフィルムや制作のための資料類、多種類の紙が積まれている。



高齢者向け



『あんもちみつ』

脚本/水谷章三 画/宮本忠夫
監修/松谷みよ子
8場面 1,400円(童心社)

じいさまとばあさまが、あん餅を3つも
らいました。ひとつずつ食べて残りはひ
とつ。にらめっこで勝ったほうが食べる
ことにしますが、そこにどろぼうがやっ
て来ました。



『曾根崎心中』

原作/近松門左衛門
脚本・絵/サワジロウ
16場面 2,400円(雲母書房)

徳兵衛と遊女のおはつは汚名を着せら
れ、心中を決意します。闇夜にまぎれ、
梅田橋を渡る名場面もしっかり見せま
す。



『ねずみちょうじゃ』

脚本/川崎大治 画/久保雅勇
12場面 1,900円(童心社)

心のやさしいおじいさんは、山でネズミ
たちにおにぎりを分けてやりました。お
礼にネズミ御殿に案内され、打ち出の小
槌をもらって帰りました。その様子を見
ていた隣の欲ばりじいさんは、真似をし
ますが……。

参加型



『しりとりパーティー』

脚本/かとうようこ 絵/イ・スジン
8場面 1,400円(童心社)

ラッパカ歌を歌っています。すると、「パ」
のつく車が来ました。さて、何でしょう？
そう、パトカーです。次は「か」のつく鳥
のように、しりとりで次々にやって
来るものを当ててみましょう。



『はいーい!』

脚本/間所ひさこ 絵/山本祐司
8場面 1,400円(童心社)

ネコさん、「はいーい」。イヌさん、「はいーい」。
ヒヨコちゃんもいますよ。「はいーい」。小
さな子どもたちと一緒に元気にごあいさ
つしましょう。



『ふたごのまるまるちゃん』

脚本/犬飼由美恵 絵/やべみつりのり
12場面 1,650円(教育画劇)

そっくりのふたご、まるまるちゃんが穴
から飛び出して遊びに行きました。あれ
あれ、同じ大きさなのに、違って見える
のはなぜ？ 目の錯覚を体験できる作品
です。

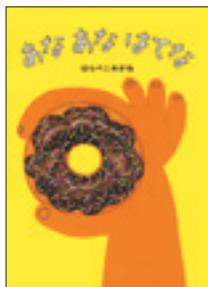
Part
3

※ JRAC おすすめ 参加型 & 高齢者向け 紙芝居

紙芝居には、物語完結型のほかに、その場にいる人たちとやりとりしながら進む、観客参加型があります。小さな子ども入りやすい参加型と、高齢者に人気のおすすめ紙芝居を紹介します。

『あな あな はてな』

作／はらぺこめがね
1,300円(アリス館)



「あな あな はてな? なんのあな どうしてあいた? こんなあな」。ちくわ、ドーナツ、パイナップル。パンの穴はどこ? 穴があいているのは、どんな理由なのでしょう?

『あみ』

作／中川ひろたか
絵／岡本よしろう
1,400円(アリス館)



何かを逃がしながら、何かを捕まえるのが、「あみ」です。身のまわりを見回してみると、たくさん見つかるはず。ザルとかネットとか、名前は違っても、実は「あみ」なものを探してみよう。

『つながる』

著／長倉洋海
1,400円(アリス館)



地球の変化を敏感に感じとるキルギスの牧畜民、子どものころから伝統の衣装を織るインカ族、トナカイとともに生きるツンドラ地帯の遊牧民……。旅の中で出会った人々はまわりとつながるための「根」を持っていました。

『いまでも いっしょだね』

作／きむらだいすけ
1,300円(イメージイン・プラス)



イヌのシフォンは町の人気もの。いつもおじいさんと一緒にです。でも、楽しいときは過ぎ、やがて悲しい別れがやってきます。シフォンはいなくなってしまったけれど、おしまいではないことを教えてくれました。

『かわにくまがおこちた』

著／リチャード・T・モリス
絵／レウィン・ファム
訳／木坂 涼
1,500円(岩崎書店)



あるところに1本の川が流れていました。この川にくまがおこちたことで、カエルやカメと出会い、ビーバーやアラグマも仲間に加わり愉快なできごとがおこりました。川のそばで生きていたみんなが繋がったのです。

新刊

もう
読んだ?

100!!

2019年6～8月に発売された新刊絵本の中から、読みきかせにもおすすめの100冊を選びました。子どもたちとすてきな時間を過ごしてください。

※出版社五十音順

🍷 マークは乳幼児から、🎵 は中・高校生も楽しめる本です。

定期購読者限定プレゼント🎁

新刊絵本プレゼントの詳細は、このページの下欄をご覧ください。

『うみのあじ』

作／たけがみたえ
1,400円(あかね書房)



イヌのべらは、なつことお父さんと一緒に はじめて海へ行きましたが、ぼちゃん!と海に落ちてしまいます。海からあがると体がふらふら。でも、気持ちいい。忘れられない海の味でした。

『ドクルジン』

作／ミロコマチコ
1,800円(垂紀書房)



池の音を始まりに、山からも、海からも、土の中からも、力強い音が響いてきます。ドクルジン、ドクルジン。生きものの誕生、成長、あふれる力が、画面から伝わってきます。そして、爆発は静寂へ。ドクルジン、ドクルジン……。

『みらいのえんそく』

作／ジョン・ヘア
文／椎名かおる
1,400円(あすなる書房)



未来の遠足の行き先は月。はじめて月から地球を見た子どもたちは大喜び。でも、いねむりしていた子が置いていかれてしまいました。仕方なく絵を描いていたら、宇宙人がやってきて一緒にお絵かきをしました。

※JPIC直販の定期購読の方に、抽選で新刊絵本100冊から1冊をプレゼントします。巻末のアンケートハガキまたはホームページのアンケートフォームから応募してください。

連載!
第43回

おはなしお婆さんの
**おはなしの
たねあかし**



天井裏に住んでいるイタチとネコとニワトリとネズミが、おそなえもちを運んできました。4匹で力を合わせて運んできたのですが、さてここから天井裏までどうやって運びましょう。はしごを借りてきましたが……。

イラスト／保坂あけみ

藤田 浩子

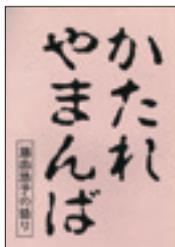
1937年東京生まれ。福島県三春町に疎開し、昔ばなしを聞いて育つ。幼児教育に携わりながらおはなしを語って50年。現在は西小岩幼稚園をはじめ、小学校や大学などでも小道具を使った楽しいおはなしを語り、大人向けの講演会のため全国を飛び回る毎日。

『おそなえもち』

むがあし まずあったと。
あるとこになあ
いたちと 猫と 鶏と ねずみが
仲よく天井裏で暮らしたんだと。
「お正月が近づいて
人間の家ではどこの家でも
おそなえもちつうのを飾る
おらたちも 飾りてえなあ」
「うん 飾るべでねえか
したがほれ おらたち白があるわけ
でねえ 杵があるわけ
でねえ」

もちつくわけにいかねえから
ほおだほおだ どこぞの
家から盗んでくるべえ」
となつてなあ ほおで どこぞの家から
まあ ずねえ(※)おそなえもち盗んで
四匹でうんこらしよ
うんこらしよと運んできた。
「ここまでは運んできたんだけど
ここから天井まで
なじよして(※)上げたらいかつぺなあ
ほおだ ほおだ はしご借りてくるべえ」

今回のおはなしが載っている 藤田さんの著書と最新刊



『かたれやまんば 第一集』

今回ご紹介した「おそなえもち」のほかに「十二支のはなし」「人参と大根と牛蒡」など全32話を収録。
1,000円(藤田浩子の語りを聞く会)

購入ご希望の方はハガキに●住所●氏名(ふりがな)
●電話番号●ご希望の本の名前と冊数を記入の上、郵送してください。本の代金は商品同封の振込用紙にてお振り込みください(送料は別途必要)。

〒341-0021
埼玉県三郷市さつき平1-4-1-507 岡留文子

最新刊

『続 紙さえあれば いつでも どこでも 楽しめる4
藤田浩子の
新聞紙・牛乳パック・おりがみで おはなし』
絵／保坂あけみ 1,200円(一声社)



おはなし会 冬のプログラム

プログラム(各10~15分) 小学校低学年

12月 テーマ: 冬の物語を読もう

① 『手ぶくろを買いに』

作/新美南吉
絵/黒井 健
1,400円(偕成社)

野に住むキツネの親子の生活から、人間のあり方を考えさせられます。「ほんとうに人間はいいものかしら?」。絵も美しく、寒い冬に想像をふくらませながら読みたい物語。



② 『かさじぞう』

作/松谷みよ子
絵/黒井 健
1,100円(童心社)

正月のごちそうも買えない貧しい「じい」の、雪の野の地藏さまへのやさしさ。子どもたちは自分の持つ価値観を揺さぶられるでしょう。



1月 テーマ: 身近なものを見直して

① 『わすれもの』

作/豊福まきこ
1,300円(BL出版)

公園のベンチに置き忘れられたヒツジのぬいぐるみ。「ミナはきつと迎えにくる」。人と物との心のぎずなが、ぬいぐるみの言葉で語られます。



② 『おぼえていろよ おおきな木』

作・絵/佐野洋子
1,000円(講談社)

庭先の大きな木を邪魔に思い「おぼえていろよ」と切ってしまったおじさん。失ってはじめてわかるその木のありがたさ。おじさんは……。



2月 テーマ: 自分もみんなも大切に

① 『アナグマさんは ごきげんななめ』

作/ハーウィン・オラム
絵/スーザン・バーレイ
訳/小川仁央
1,300円(評論社)

なぜかふさぎこんでしまったアナグマさん。モグラのアイデアとみんなの協力で、元気をとり戻します。誰もがときどきは、周囲に愛されていることを確かめたくなるのですね。



② 『モチモチの木』

作/斎藤隆介
絵/滝平二郎
1,400円(岩崎書店)

おくびょうで弱虫の豆太が、じさまのために真夜中にお医者さまのところまで走ります。自分に自信の持てない子どもたちに読んであげたい。



(宮崎康子)



対象別おはなし会のプログラムです。ここで紹介する絵本や紙芝居は、ご家庭での読みきかせにもおすすめです。冬のブックガイドとしても活用してください。

行事絵本・季節の絵本

クリスマス

『もういちど そのことを、』

作・構成/五味太郎
写真/寺崎誠三
1,200円(クレヨンハウス)

クリスマスは、一年の終わりが近づき、その年を振り返る時期です。普段は忘れていた“そのこと”を思い出し、感じてみましょう。



お正月

『はつゆめはひみつ』

文/谷 真介 絵/赤坂三好
1,068円(佼成出版社)

初夢は、その年の運だけでなく、将来まで占う力があると信じられてきました。しかも、誰にも話さなければ、夢はかなうとか。教えを守った九助のおはなしです。



紙芝居

『とうじかぼちゃで ふゆもげんき!』

脚本・絵/土田義晴 1,900円(童心社)

一年でいちばん昼間が短い日を「冬至」と言い、「ん」のつくものを食べると元気になるといわれています。でも、かぼちゃに「ん」は、あったかな?



紙芝居

『らいねんは なにどし?』

脚本/上地ちづ子 絵/金沢佑光 1,900円(童心社)
年ごとに動物の名前をつけることにした王さま。まず仙人が、動物たちを呼び集めて12匹を選び、競走させました。どんな結果になったでしょう。



紙芝居

『せつぷんとおに』

作・絵/みやざきひろかず 1,650円(教育画劇)

近ごろの人間は、節分に巻き寿司を食べるらしいと聞いた赤オニと青オニは、人間の家に忍び込んでみました。逆さ絵や迷路も楽しむ紙芝居です。



(安富ゆかり)

2020 2 February

※破線で切り取り二つ折りにしてお使いください※

| Sun | Mon | Tue | Wed | Thu | Fri | Sat |
|---|---|----------------|-----------------|---|---|--|
| | | | | | | 1 |
| 2 おんぶの日 | 3 節分 大豆の日  | 4 立春 | 5 | 6 海苔の日 | 7 | 8 つばきの日 千マークの日 |
| 9 服の日 漫画の日  | 10 ニットの日 封筒の日 | 11 建国記念の日 | 12 ダーウィンの日 | 13 苗字制定記念日 | 14 バレンタインデー | 15 |
| 16 寒天の日 天気図記念日 | 17 | 18 冥王星の日 | 19 雨水 | 20 歌舞伎の日 普通選挙の日  | 21 国際母語デー  | 22 おでんの日 世界友情の日 猫の日  |
| 23 天皇誕生日 富士山の日 ふろしきの日 | 24 振替休日 クロスカントリーの日 | 25 | 26 | 27 | 28 ビスケットの日  | 29 |

※「この本 読んで!」74号は3月3日発売予定です。

山折り

読みきかせ・おはなし会
Calendar
Winter
2019-2020

memo

LOOK!
P41



このマークのついた
記念日にちなんだ絵本を
P41で紹介しています。